

令和 7 年
災 害 の 概 要



安全・安心な南但をめざして！



南 但 消 防 本 部

目 次

1 火災の概要	1
1-1 火災の状況	2
1-2 地域別の状況	3
1-3 月別発生状況	4
1-4 出火原因	5
2 救急の概要	6
2-1 救急出場状況	7
2-2 地域別出場状況	8
2-3 月別出場状況	9
2-4 医療機関別搬送状況	10
2-5 事故種別・傷病程度別搬送人員	11
3 救助の概要	12
3-1 救助出動状況	13
3-2 地域別出動状況	14
3-3 月別出動状況	15
3-4 救助活動件数及び救助人員状況	16
4 通信の概要	17
4-1 119番受信の状況	18
4-2 ドクターへリ・ドクターカー月別要請状況	19

1 火災の概要

令和7年の出火件数は27件で、前年（12件）と比較すると15件の増加となっています。火災種別でみると、建物火災が18件、林野火災が3件、車両火災が1件、その他の火災が5件となっています。

（1）地域別の火災発生状況

朝来市の出火件数は15件で、その内訳は、建物火災が9件、林野火災が1件、車両火災が1件、その他の火災が4件となっています。

養父市の出火件数は12件で、その内訳は、建物火災が9件、林野火災が2件、その他の火災が1件となっています。

地域別の出火件数でみると、朝来市は、生野2件、和田山7件、山東4件、朝来2件となっており、養父市は、八鹿5件、養父2件、大屋3件、関宮2件となっています。

（2）火災損害額の状況

火災の損害額は64,414千円で、前年（17,869千円）と比較すると46,545千円増加しており、朝来市は35,122千円、養父市は29,292千円となっています。

地域別でみると、朝来市は、生野が202千円、和田山が8,697千円、山東が0円、朝来が26,223千円となっており、養父市は、八鹿が17,098千円、養父が424千円、大屋が10,906千円、関宮が864千円となっています。

なお、朝来市（和田山、山東）で発生した建物火災2件の損害額は、調査中のため未計上としています。

（3）月別の火災発生状況

月別の出火件数は、最も多い月が4月で7件となっており、次いで7月が4件、1月・8月・9月が3件、3月・10月が2件、2月・5月・12月が1件となっています。

なお、6月・11月は無火災でした。

（4）出火原因の状況

出火原因は、「たき火（焼却火）」・「電気関係（配線等）」が最も多く4件、次いで「たばこ」が2件、「放火（放火の疑い）」・「溶接機・切断機」・「電気関係（その他）」・「煙突」・「かまど」・「火花」・「落雷」が各1件でした。

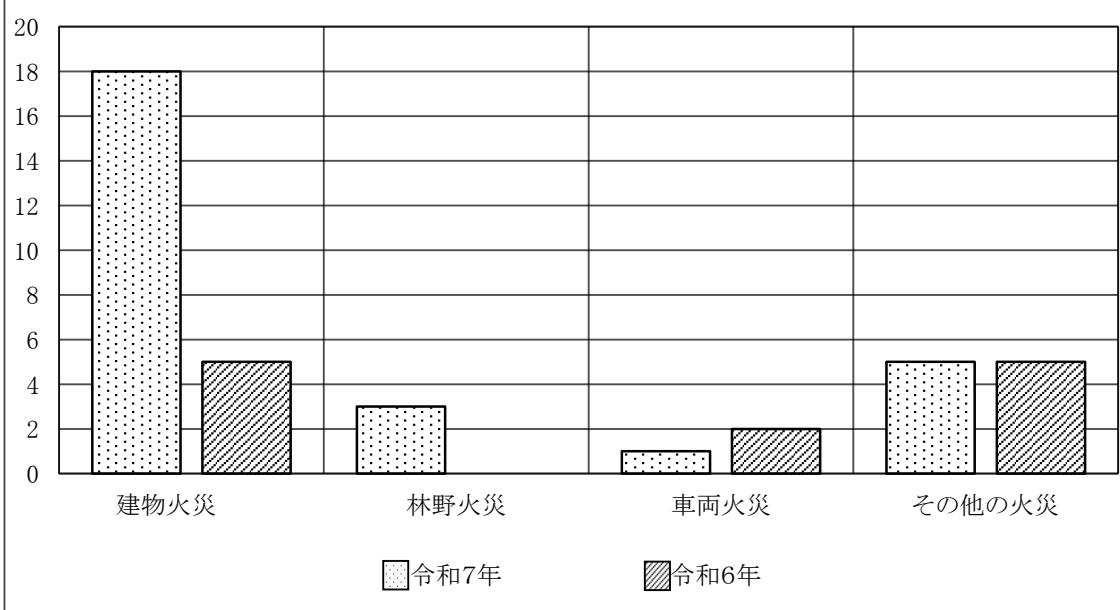
上記以外に調査の結果「不明」としたものが9件、「調査中」が1件でした。

1-1 火災の状況

区分		令和7年	令和6年	比較増減
出火件数	総 数	27	12	15
	建物火災	18	5	13
	林野火災	3		3
	車両火災	1	2	△ 1
	その他の火災	5	5	
焼損棟数	総 数	34	8	26
	全 燃	9	3	6
	半 燃	3	1	2
	部 分 燃	10	3	7
	ぼ や	12	1	11
焼損面積	建物 (m ²)	1,835	293	1,542
	林野 (a)	152		152
損害額（千円）	合 計	64,414	17,869	46,545
	建 物	63,055	16,576	46,479
	林 野	928		928
	車 両	279	1,033	△ 754
	そ の 他	152	260	△ 108
り 災 世 帯 数		25	4	21
り 災 人 員		38	8	30
死 者		3	2	1
負 傷 者		5		5

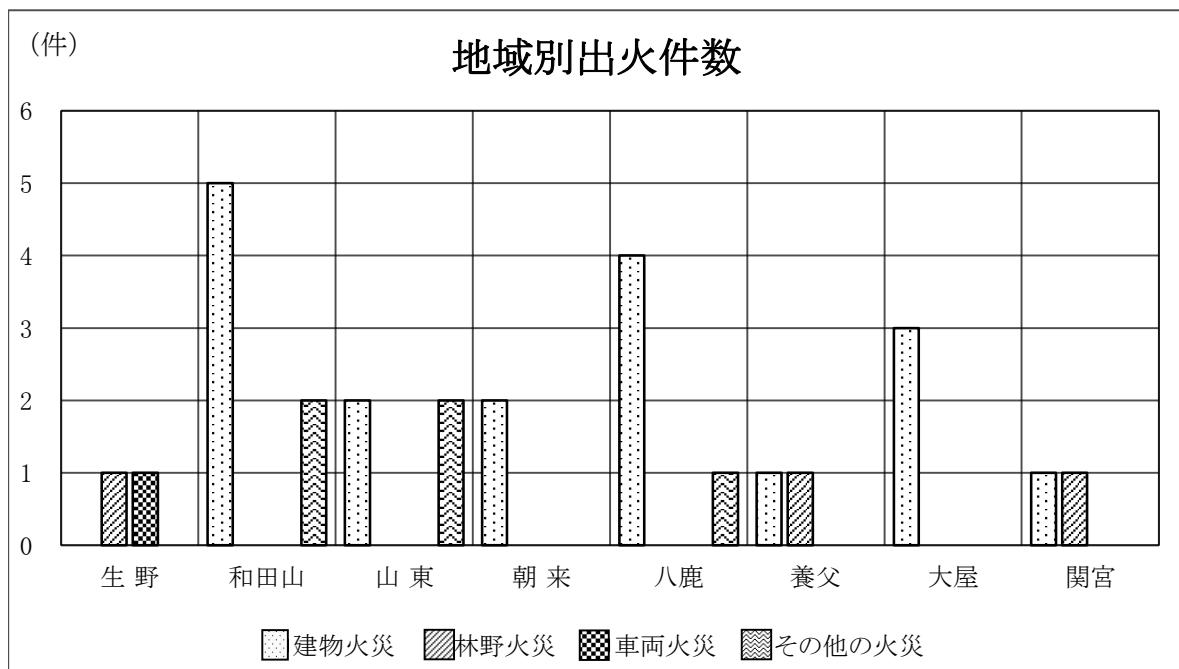
(件)

出火件数前年比較



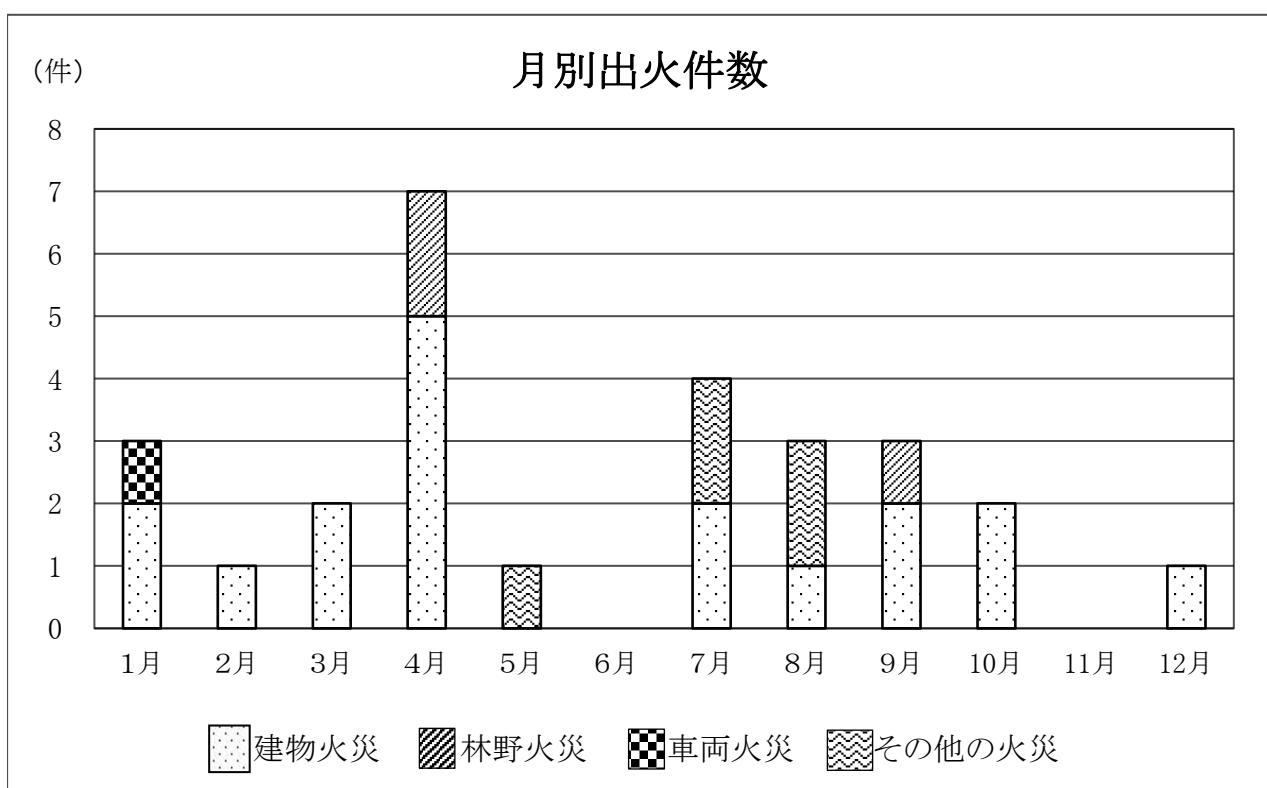
1-2 地域別の状況

区分		総数	朝来市					養父市				
			計	生野	和田山	山東	朝来	計	八鹿	養父	大屋	関宮
出火件数	総 数	27	15	2	7	4	2	12	5	2	3	2
	建物火災	18	9		5	2	2	9	4	1	3	1
	林野火災	3	1	1				2		1		1
	車両火災	1	1	1								
	その他の火災	5	4		2	2		1	1			
焼損棟数	総 数	34	21		11	8	2	13	4	1	7	1
	全 燃	9	7		4	2	1	2			2	
	半 燃	3	1		1			2	1		1	
	部 分 燃	10	5		2	2	1	5	2	1	2	
	ぼ や	12	8		4	4		4	1		2	1
焼損面積	建物 (m ²)	1,835	1,413		746	505	162	422	74	16	332	
	林野 (a)	152	134	4	130			18				18
損害額 (千円)		64,414	35,122	202	8,697		26,223	29,292	17,098	424	10,906	864
り災世帯数		25	16		12	3	1	9	2	1	5	1
り災人員		38	16		8	6	2	22	6	2	12	2
死者		3	2		2			1			1	
負傷者		5	2		2			3	2		1	



1-3 月別発生状況

区分		総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出火件数	総 数	27	3	1	2	7	1		4	3	3	2		1
	建物火災	18	2	1	2	5			2	1	2	2		1
	林野火災	3				2					1			
	車両火災	1	1											
	その他の火災	5					1		2	2				
焼損棟数	総 数	34	4	1	2	5			6	1	2	8		5
	全 燃	9	2		1				1		1	3		1
	半 燃	3							2					1
	部 分 燃	10	1			4			2			2		1
	ぼ や	12	1	1	1	1			1	1	1	3		2
焼損面積	建物 (m ²)	1,835	292		162	32			294		96	598		361
	林野 (a)	152	130			22								
損害額(千円)		64,414	8,142	4	26,197	1,768			23,638		3,954	711		
り 災 世 帯 数		25	7	1	1	4			5			3		4
り 災 人 員		38	7	1	1	9			14			6		
死 者		3							1			1		1
負 傷 者		5	1		1				2					1



1-4 出火原因

区分		令和7年					令和6年				
		総数	建物	林野	車両	その他	総数	建物	林野	車両	その他
総 数		27	18	3	1	5	12	5		2	5
裸 火	たばこ	2	2								
	ライター										
	たき火(焼却火)	4		1		3	5	2			3
	火入れ										
	ローソク										
	線香										
人 的	火遊び										
	放火(放火の疑い)	1	1				1				1
石 油 ・ ガ ス 類	ストーブ										
	こんろ										
	風呂かまど										
	溶接機・切断機	1	1								
	ガスバーナー										
	その他										
電 気 関 係	過放電										
	漏電										
	配線等	4	3			1	1				1
	その他	1	1								
車 両	ブレーキ										
	エンジン										
	排気管										
	電気系統										
	その他						1				1
煙突		1	1								
かまど		1	1								
燻炭							1	1			
火花		1	1								
落雷		1		1							
その他											
他	不明	9	6	1	1	1	3	2		1	
	調査中	1	1								

2 救急の概要

令和7年の救急出場件数は2,928件、搬送人員は2,675人で、前年(2,948件、2,682人)と比較すると件数で20件の減少、人員で7人の減少となっています。事故種別でみると、急病が1,913件で最も多く、次いで一般負傷が451件、転院搬送が236件、交通事故が189件となっています。

(1) 地域別の出場状況

朝来市の出場件数は1,519件で、生野212件、和田山788件、山東249件、朝来270件となっています。事故種別でみると、急病が1,021件、一般負傷が207件、転院搬送が113件、交通事故が118件となっています。

養父市の出場件数は1,409件で、八鹿539件、養父388件、大屋191件、関宮291件となっています。事故種別でみると、急病が892件、一般負傷が244件、転院搬送が123件、交通事故が71件となっています。

(2) 月別の出場状況

月別の出場状況は、最も多い月が1月で283件、最も少ない月が6月で213件となっています。

(3) 医療機関別の搬送状況

搬送人員2,675人のうち管内医療機関に1,368人(51.2%)、管外医療機関に1,307人(48.8%)を搬送しています。

医療機関別でみると、豊岡病院に1,145人搬送、次いで八鹿病院987人、朝来医療センター379人、神崎総合病院83人の順となっています。

なお、統計上、ドクターヘリで搬送した場合は全て豊岡病院への搬送として集計しています。

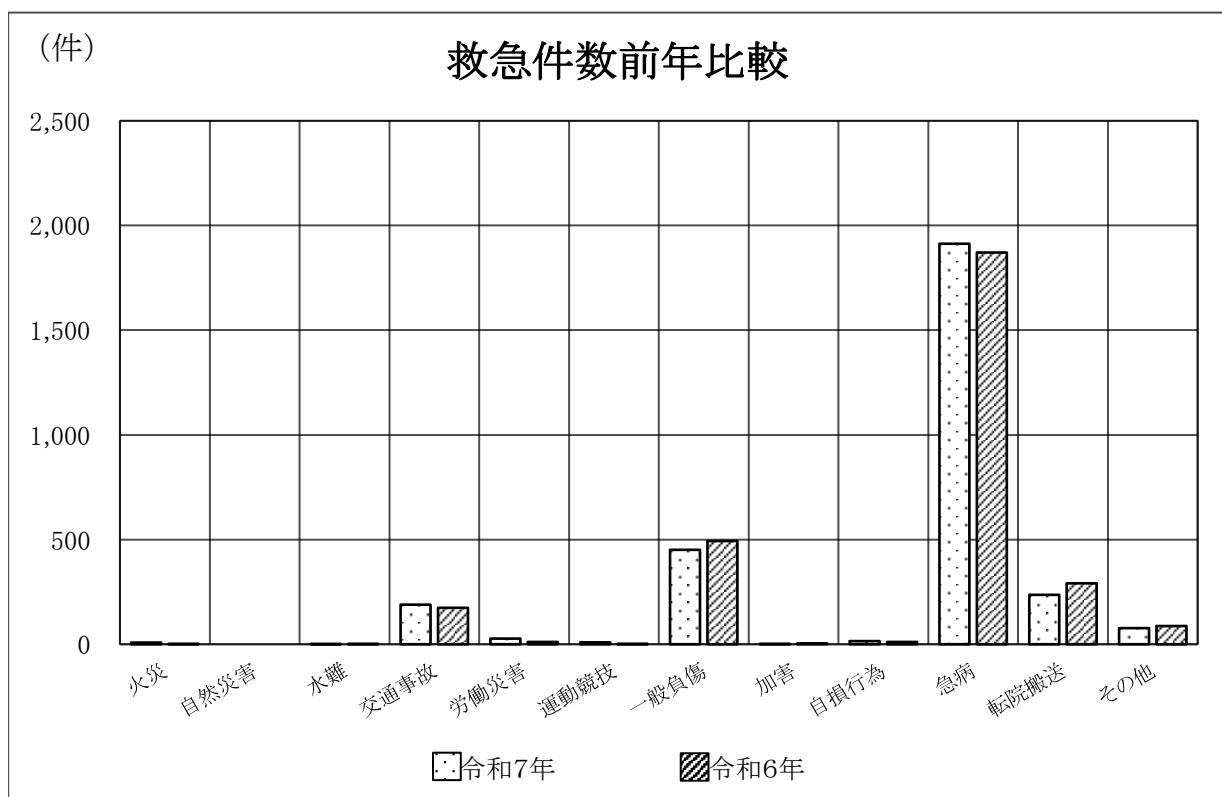
(4) 傷病程度別の搬送状況

搬送人員を傷病程度別でみると、軽症が1,236人と最も多く、次いで中等症が1,234人、重症が128人、死亡が77人となっています。

2-1 救急出場状況

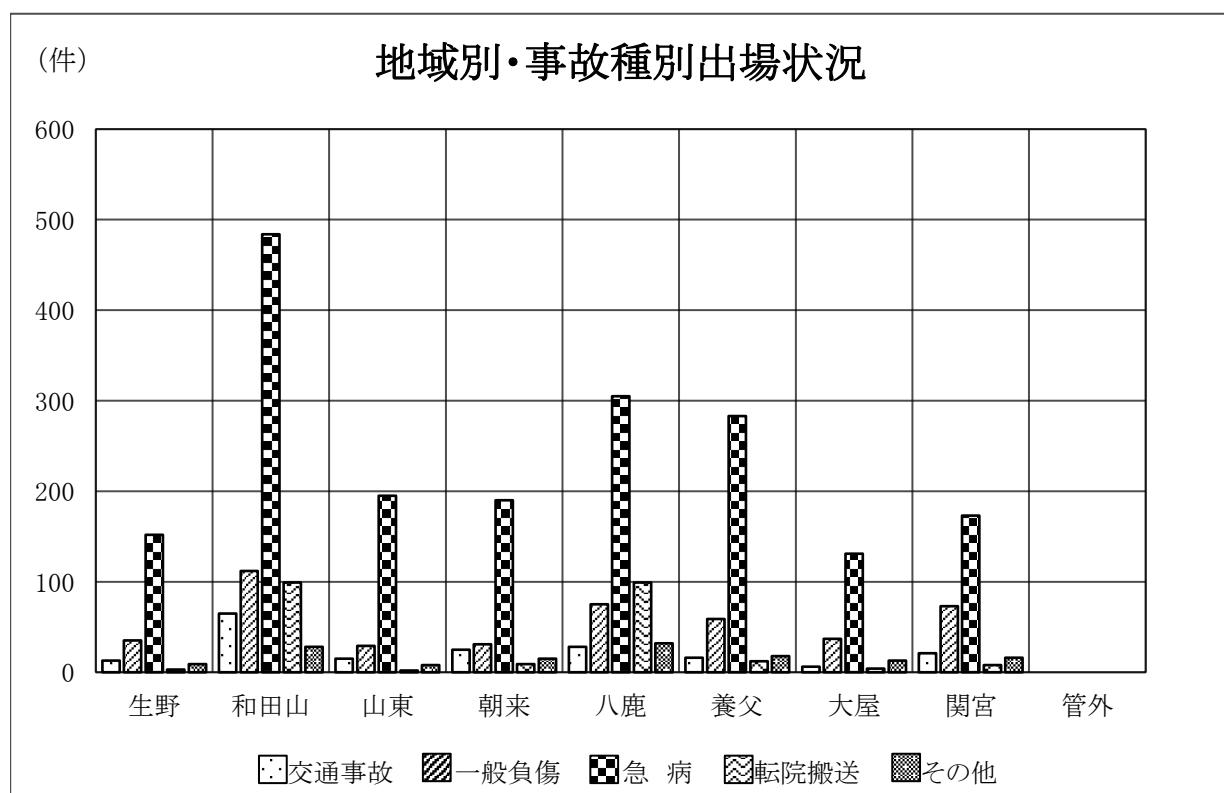
区分	令和7年		令和6年		比較増減
	件数	比率(%)	件数	比率(%)	
総 数	2,928	100%	2,948	100%	△ 20
火 災	8	0.3%	2	0.1%	6
自然 災 害					
水 難 事 故	1	0.1%	2	0.1%	△ 1
交 通 事 故	189	6.4%	174	5.9%	15
労 働 灾 害	27	0.9%	11	0.4%	16
運 動 競 技	9	0.3%	2	0.1%	7
一 般 負 傷	451	15.4%	493	16.7%	△ 42
加 害	2	0.1%	4	0.1%	△ 2
自 損 行 為	15	0.5%	11	0.4%	4
急 病	1,913	65.3%	1,871	63.4%	42
転 院 搬 送	236	8.1%	291	9.9%	△ 55
そ の 他	77	2.6%	87	2.9%	△ 10

※その他とは、上記以外のもの。(例) 医師搬送など



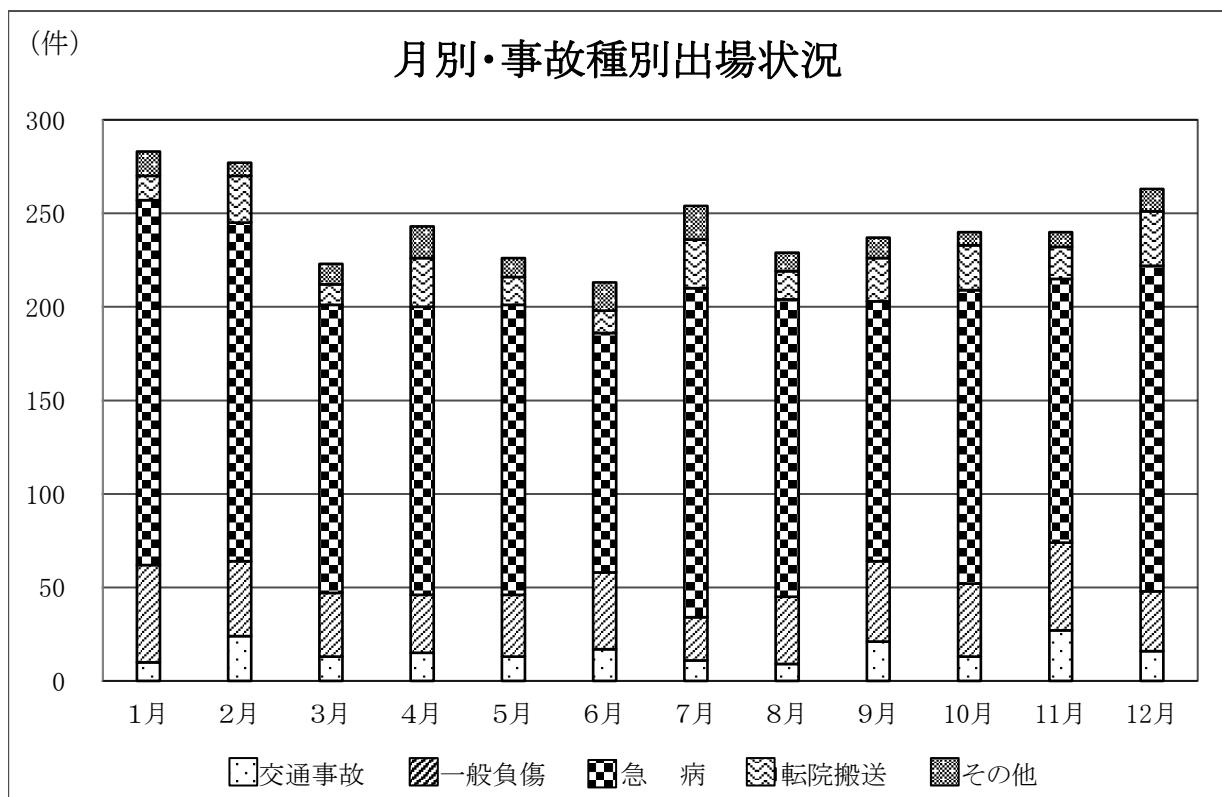
2-2 地域別出場状況

区 分	総 数	朝 来 市					養 父 市					管 外
		計	生 野	和 田 山	山 東	朝 来	計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮	
総 数	2,928	1,519	212	788	249	270	1,409	539	388	191	291	
火 災	8	3		3			5	2	1	2		
自然 災 害												
水 難 事 故	1	1	1									
交 通 事 故	189	118	13	65	15	25	71	28	16	6	21	
労 働 災 害	27	13	3	6	2	2	14	5	1	5	3	
運 動 競 技	9	5	2	1		2	4	2			2	
一 般 負 傷	451	207	35	112	29	31	244	75	59	37	73	
加 害	2	1		1			1	1				
自 損 行 為	15	13	1	8	2	2	2	2				
急 病	1,913	1,021	152	484	195	190	892	305	283	131	173	
転 院 搬 送	236	113	3	99	2	9	123	99	12	4	8	
そ の 他	77	24	2	9	4	9	53	20	16	6	11	



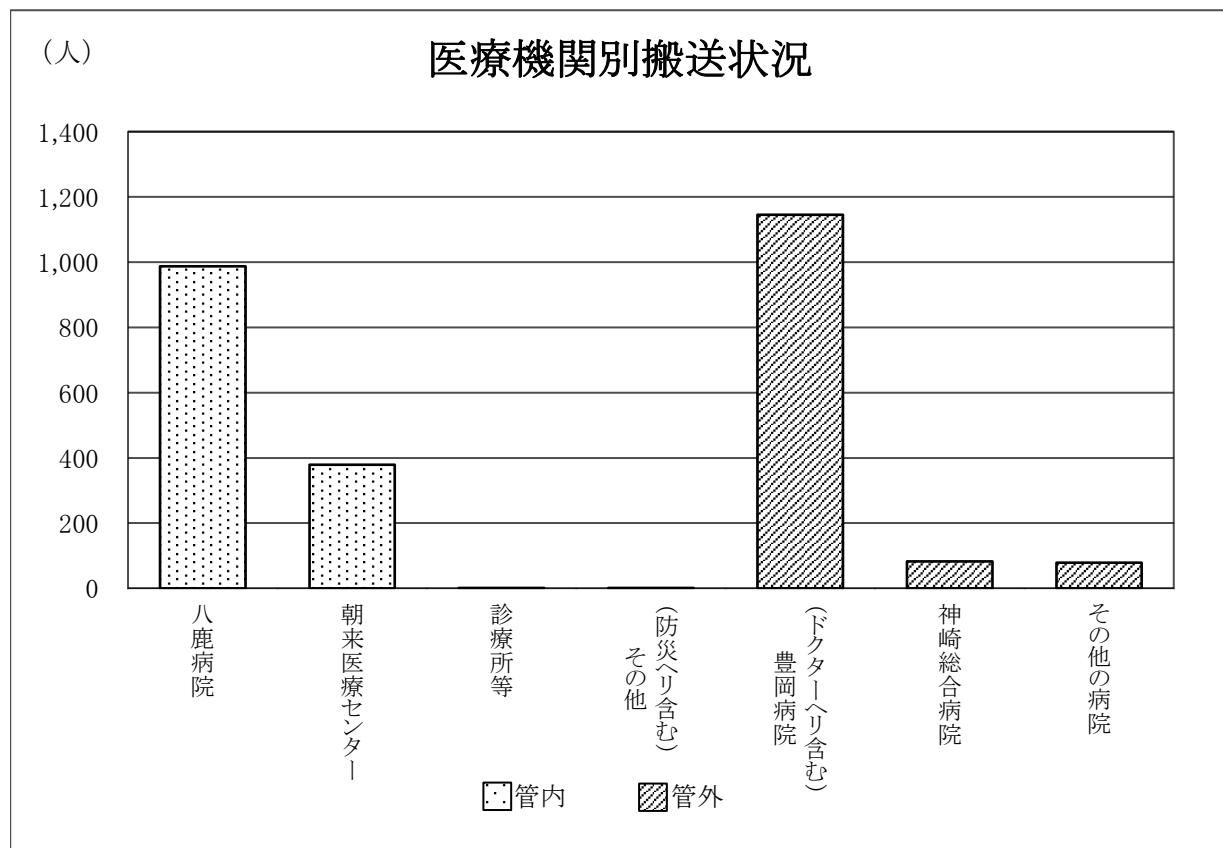
2-3 月別出場状況

区分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出動件数	2,928	283	277	223	243	226	213	254	229	237	240	240	263
火災	8	1		1	2			2			1		1
自然災害													
水難事故	1								1				
交通事故	189	10	24	13	15	13	17	11	9	21	13	27	16
労働災害	27	1	1	2	3	3	2	3	2	5	2	3	
運動競技	9	1				2	1		3	1	1		
一般負傷	451	52	40	34	31	33	41	23	36	43	39	47	32
加害	2				1	1							
自損行為	15	1	1	2	2	1	2	3		1			2
急病	1,913	195	181	154	154	155	128	176	159	139	157	141	174
転院搬送	236	13	25	11	26	15	12	26	15	23	24	17	29
その他	77	9	5	6	9	3	10	10	4	4	3	5	9



2-4 医療機関別搬送状況

区分		総数	(%)	交通	一般	急病	転院	その他
総数				162	422	1,804	236	51
管内	計	1,368	51.2%	46	280	976	46	20
	病院	八鹿病院	987	36.9%	24	204	705	41
		朝来医療センター	379	14.1%	22	76	270	4
	診療所等		1	0.1%			1	
	その他 (防災ヘリ含む)		1	0.1%				1
	計	1,307	48.8%	116	142	828	190	31
	病院	豊岡病院 (ドクターヘリ含む)	1,145	42.8%	112	118	742	146
管外		神崎総合病院	83	3.1%	4	18	54	3
		その他	79	2.9%		6	32	41



2-5 事故種別・傷病程度別搬送人員

区分	総 数	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他の
総 数	2,675	77	128	1,234	1,236	
火 災	4			2	2	
自然 災 害						
水 難 事 故						
交 通 事 故	162	1	7	68	86	
労 働 災 害	25	1	1	14	9	
運 動 競 技	9		1	1	7	
一 般 負 傷	422	12	26	170	214	
加 害	2				2	
自 損 行 為	11	2	1	3	5	
急 病	1,804	58	72	785	889	
転 院 搬 送	236	3	20	191	22	

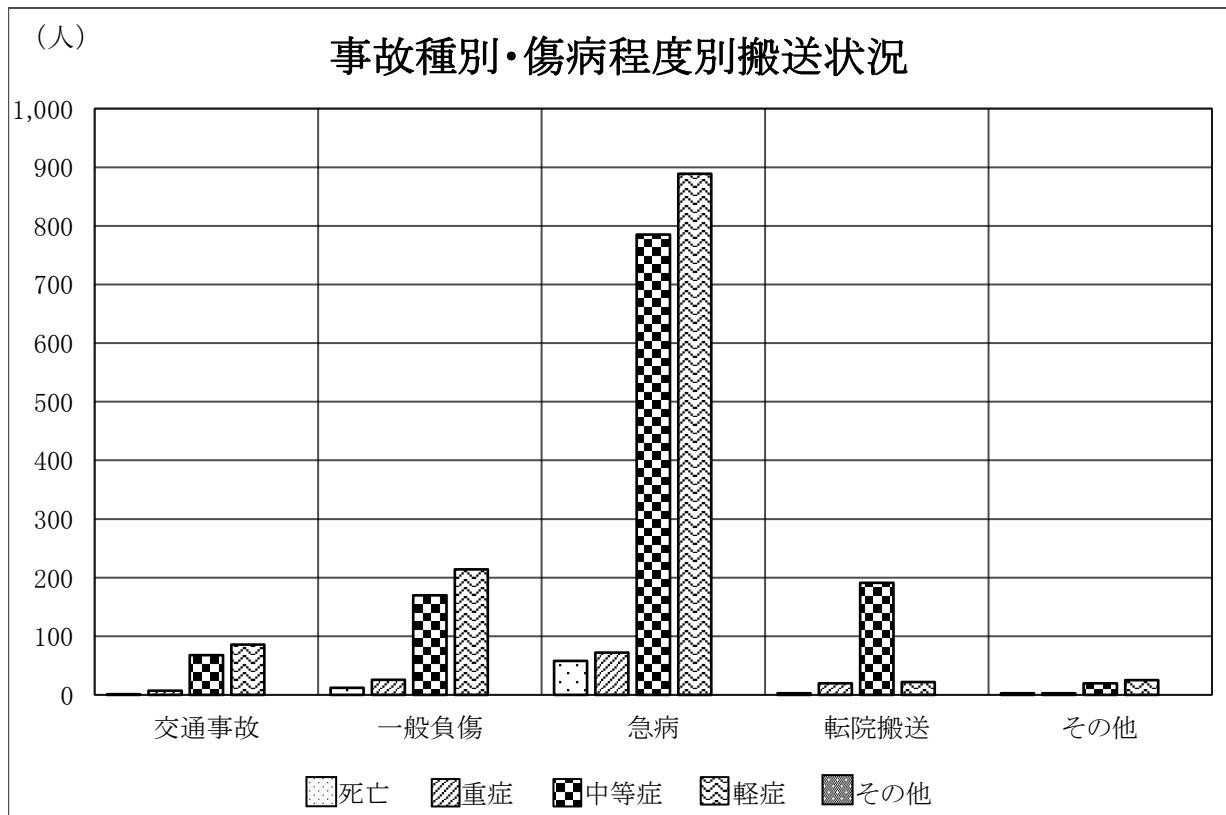
※ 死 亡…初診時、死亡と診断されたもの

重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの

軽 症…入院加療を必要としないもの

その他…医師の診断のないもの



3 救助の概要

令和7年の救助出動件数は65件で、前年(61件)と比較すると4件の増加となっています。事故種別でみると、交通事故が32件、建物等による事故が11件、火災が3件、水難事故が1件、機械による事故が1件、その他の事故が17件となっています。

(1) 地域別の出動状況

朝来市内の出動件数は37件で、生野が4件、和田山が18件、山東が4件、朝来が11件となっています。事故種別でみると、交通事故が20件、建物等による事故が6件、火災が2件、水難事故が1件、その他の事故が8件となっています。

養父市内の出動件数は28件で、八鹿が6件、養父が5件、大屋が6件、関宮が11件となっています。事故種別でみると、交通事故が12件、建物等による事故が5件、火災が1件、機械による事故が1件、その他の事故が9件となっています。

(2) 月別の出動状況

月別の出動状況は、11月が10件で最も多く、次いで1月・6月が7件、2月・7月が6件、4月・5月・8月が5件、10月・12月が4件、3月・9月が3件となっています。

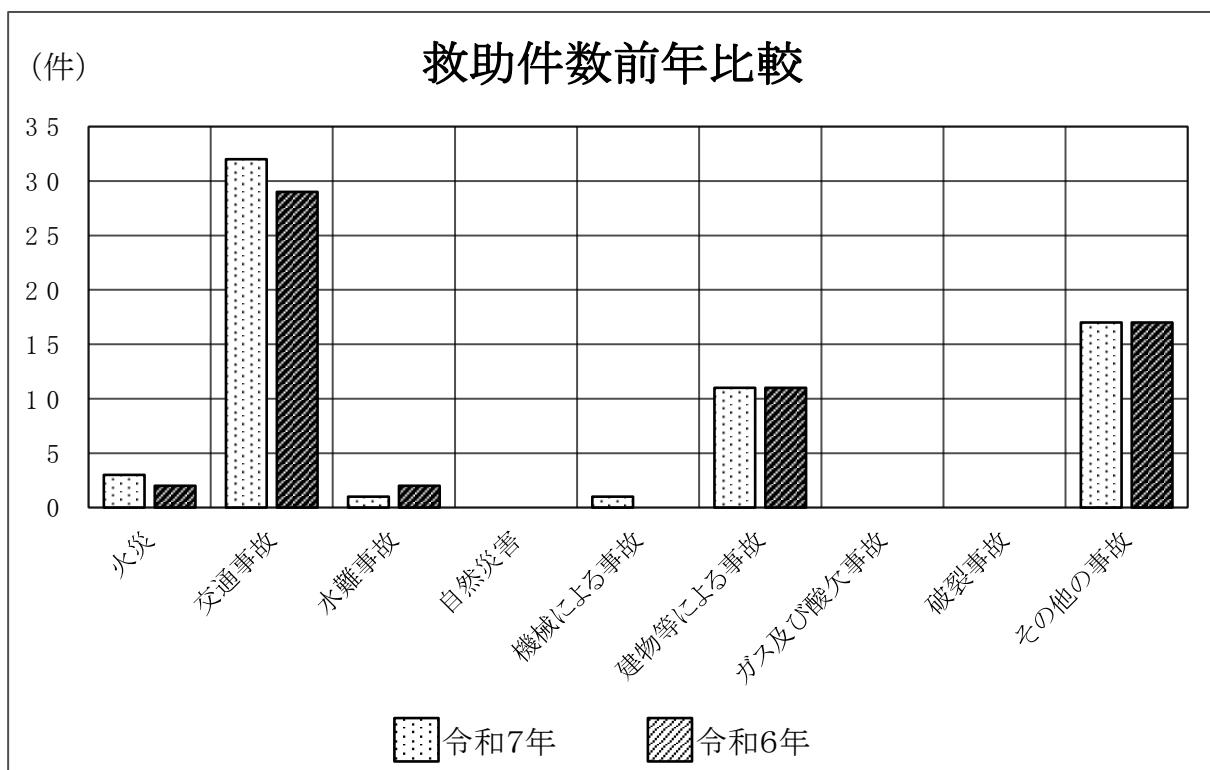
(3) 救助活動件数及び救助人員の状況

救助隊が救助活動を行った件数は42件で、47人を救助しています。

傷病程度別でみると、死亡12人、重症2人、中等症19人、軽症7人、その他(負傷なし)7人となっています。

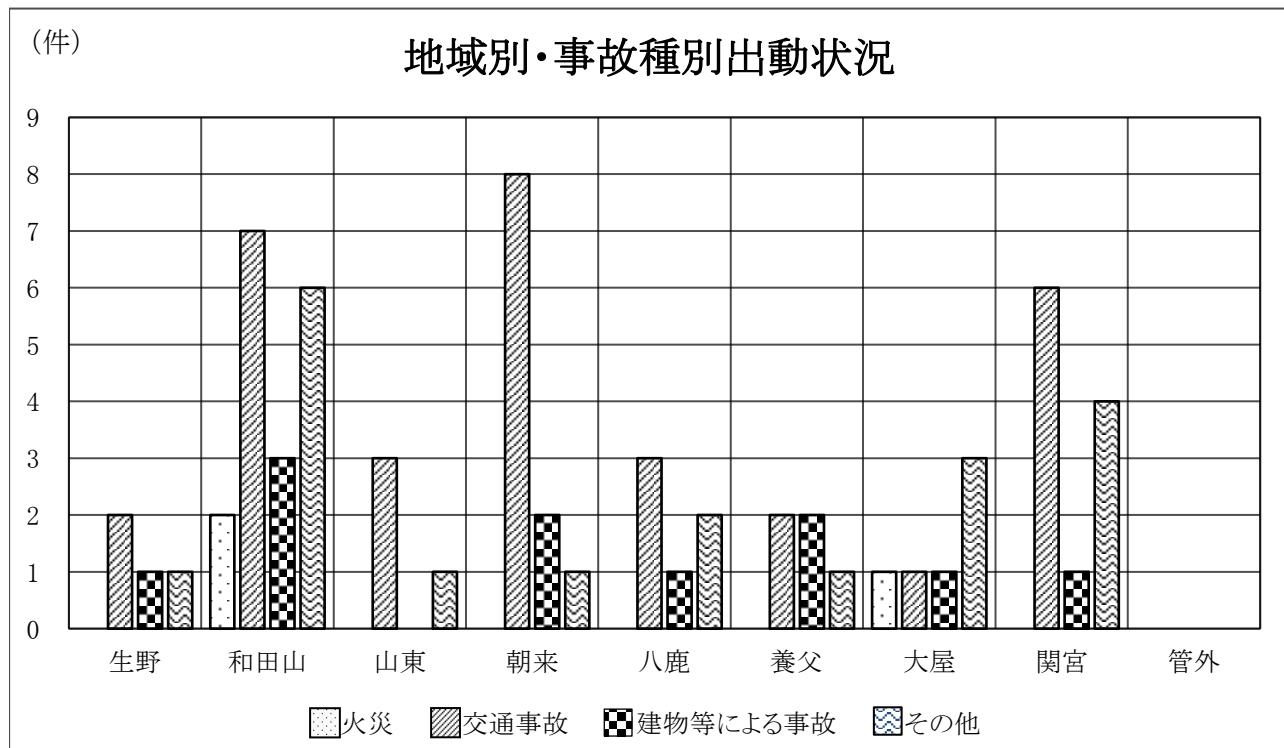
3-1 救助出動状況

区分	令和7年		令和6年		比較増減
	件数	比率(%)	件数	比率(%)	
総 数	65	100%	61	100%	4
火 災	3	4.6%	2	3.3%	1
交 通 事 故	32	49.3%	29	47.5%	3
水 難 事 故	1	1.5%	2	3.3%	△ 1
自 然 災 害					
機械による事故	1	1.5%			1
建物等による事故	11	16.9%	11	18.0%	
ガス及び酸欠事故					
破 裂 事 故					
その他の事故	17	26.2%	17	27.9%	



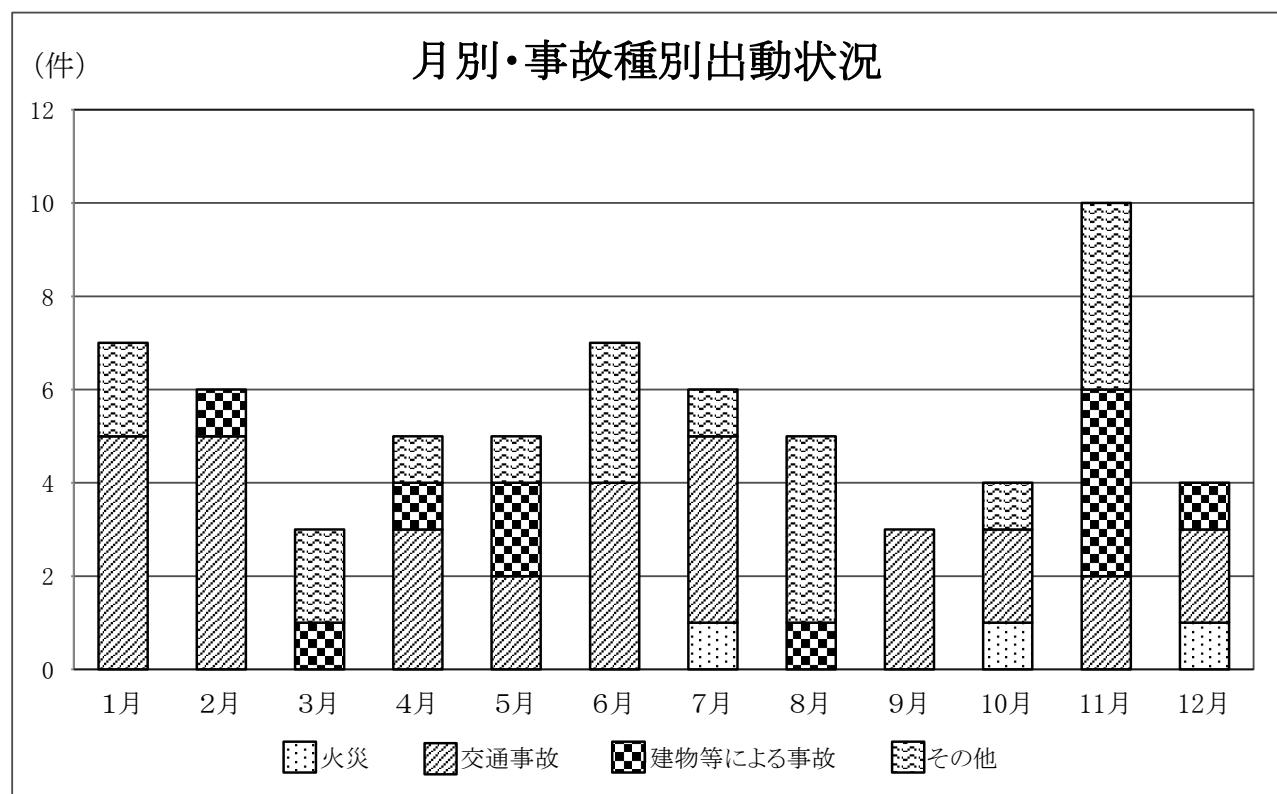
3-2 地域別出動状況

区分	総数	朝来市					養父市					管外
		計	生野	和田山	山東	朝来	計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総数	65	37	4	18	4	11	28	6	5	6	11	
火災	3	2		2			1			1		
交通事故	32	20	2	7	3	8	12	3	2	1	6	
水難事故	1	1	1									
自然災害												
機械による事故	1						1	1				
建物等による事故	11	6	1	3		2	5	1	2	1	1	
ガス及び酸欠事故												
破裂事故												
その他の事故	17	8		6	1	1	9	1	1	3	4	



3-3 月別出動状況

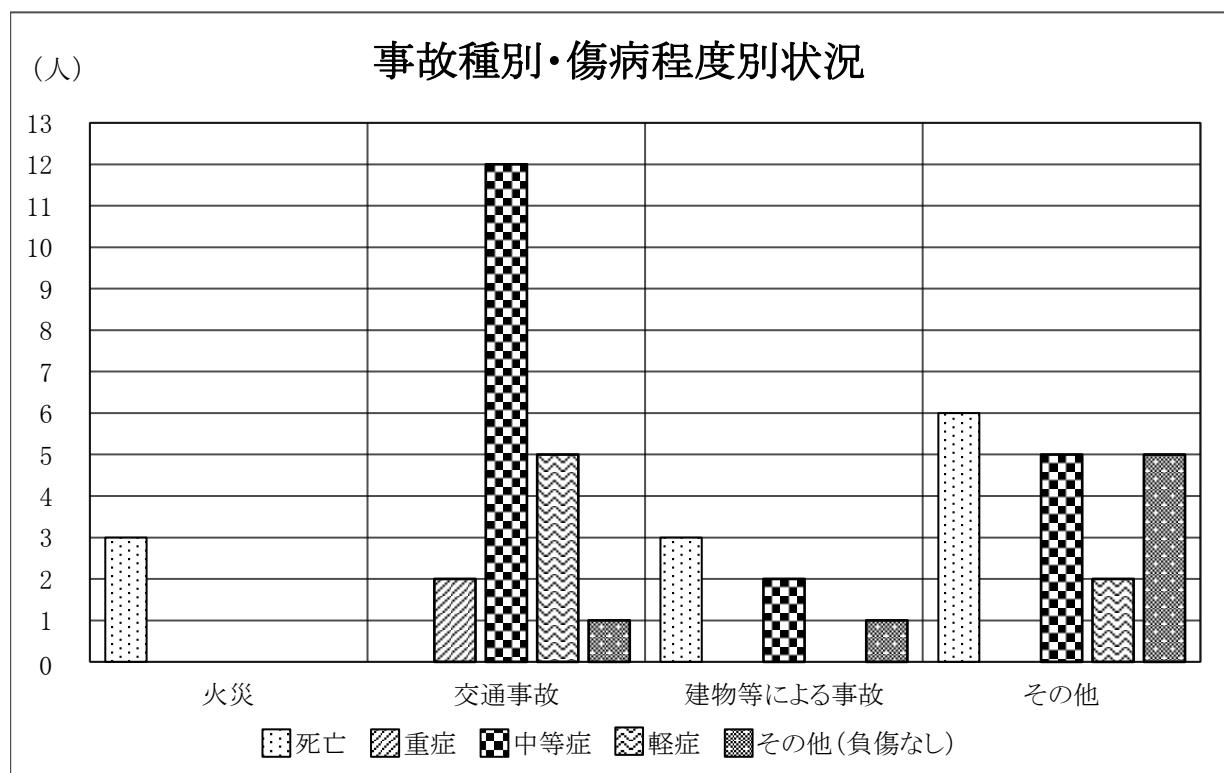
区分	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数	65	7	6	3	5	5	7	6	5	3	4	10	4
火 災	3							1			1		1
交 通 事 故	32	5	5		3	2	4	4		3	2	2	2
水 難 事 故	1								1				
自 然 災 害													
機械による事故	1	1											
建物等による事故	11		1	1	1	2			1			4	1
ガス及び酸欠事故													
破 裂 事 故													
その他の事故	17	1		2	1	1	3	1	3		1	4	



3-4 救助活動件数及び救助人員状況

区分	出動件数	活動件数	救助人員					
			総数	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総 数	65	42	47	12	2	19	7	7
火 災	3	3	3	3				
交 通 事 故	32	18	20		2	12	5	1
建物等による事故	11	6	6	3		2		1
そ の 他	19	15	18	6		5	2	5
生 野	4	1	1	1				
和 田 山	18	14	15	3		7	4	1
山 東	4	3	5	2		3		
朝 来	11	5	5	1	2	1	1	
八 鹿	6	5	7	1		2	1	3
養 父	5	3	3	1		2		
大 屋	6	6	6	2		3	1	
関 宮	11	5	5	1		1		3
管 外								

※救助人員のその他とは、負傷なしを示す。



4 通信の概要

(1) 119番の受信状況

令和7年の119番受信件数は3,681件で、その内訳は緊急通報が2,844件、緊急外通報が837件となっています。

また、携帯電話からの119番通報は1,810件で、119番通報全体の49.2%を占めています。

(2) ドクターヘリ・ドクターカーの月別要請状況

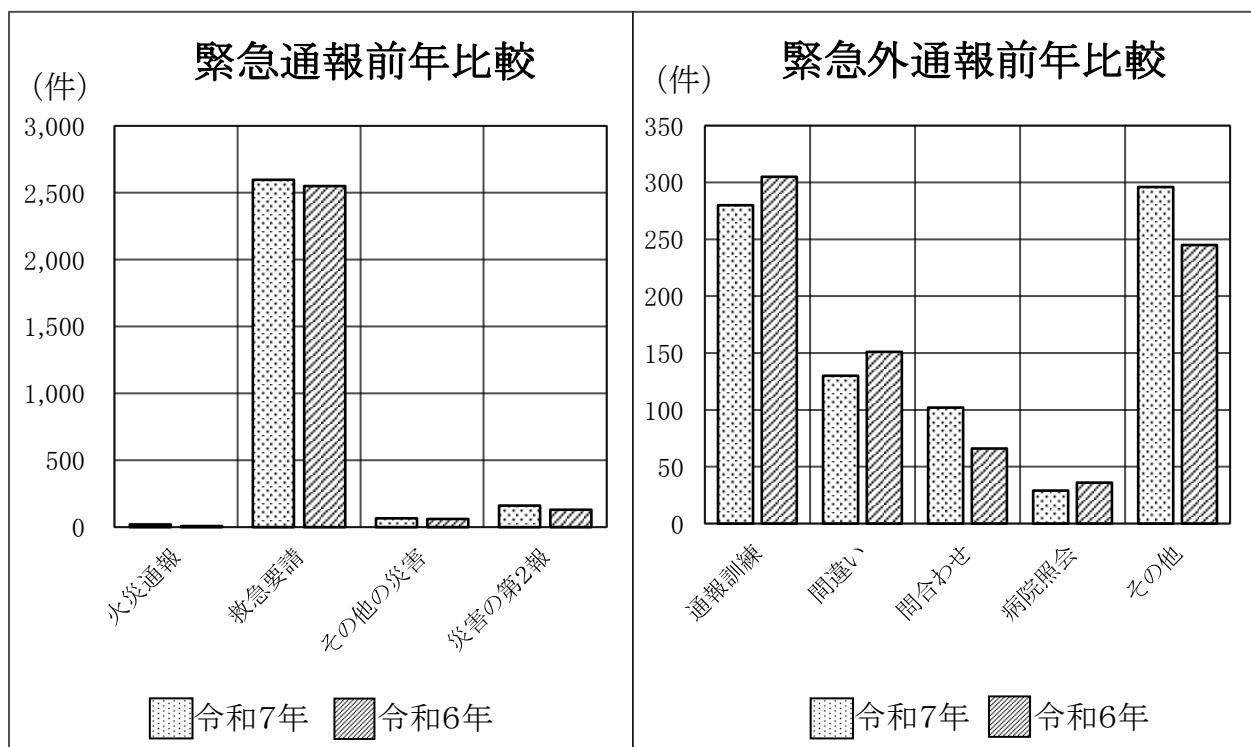
ドクターヘリ・ドクターカーの要請回数は1,466回となっています。

ドクターヘリ・ドクターカーの月別要請状況は、最も多い月が2月で157回、次いで1月が155回となっています。最も少ない月は7月で93回となっています。

事故種別でみると、急病が1,223回と最も多く全体の83.4%を占めています。

4-1 119番の受信状況

区分	令和7年		令和6年		比較増減
	件数	内携帯電話	件数	内携帯電話	
総 数	3,681	1,810	3,552	1,684	129
緊急通報	計	2,844	1,421	2,749	1,355 95
	火災通報	20	18	8	7 12
	救急要請	2,597	1,276	2,550	1,207 47
	その他の災害	66	27	61	44 5
	災害の第2報	161	100	130	97 31
緊急外通報	計	837	389	803	329 34
	通報訓練	280	29	305	31 △ 25
	間違い	130	106	151	109 △ 21
	問合わせ	102	62	66	43 36
	病院照会	29	25	36	27 △ 7
	その他	296	167	245	119 51



4-2 ドクターへリ・ドクターカー一月別要請状況

月別 種別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総 数	1,466	155	157	126	126	102	106	93	98	114	127	125	137
交通事故	100	8	13	4	7	6	10	9	3	12	10	14	4
一般負傷	82	9	6	7	6	2	10	2	6	11	11	7	5
急 病	1,223	135	133	107	103	92	85	75	86	84	105	96	122
転院搬送	35		4	4	7		1	2	2	5		5	5
そ の 他	26	3	1	4	3	2		5	1	2	1	3	1



令和7年度 全国統一防火標語

「急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし」

南但消防本部

〒669-5261
兵庫県朝来市和田山町枚田 436-1
TEL 079-672-0119(代)
消防本部ホームページアドレス
<http://www.nantan.hyogo.jp/fire/>

○朝来消防署
消防本部に併設

○養父消防署
〒667-0043
兵庫県養父市八鹿町高柳 173
TEL 079-662-0119(代)